



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLY BULLETIN

# 佐土原ロータリークラブ週報

PUT LIFE  
INTO  
ROTARY-  
YOUR LIFE

ロータリーに  
活力を--  
あなたの  
活力を



1月ロータリー理解推進月間  
会員増強継続月間

PolioPlus



●次回卓語予定者

1989.1.20.(金) 第63回例会

## 本日のプログラム

1. 点鐘
2. ロータリーソング（我等の生業）
3. 「四つのテスト」唱和
4. 食事
5. 会長の時間
6. 幹事報告
7. 各委員会報告
8. 会員卓話
9. 点鐘

## 佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日(12:30~13:30)  
例会場 ホテル神宮寺 TEL 0985-73-0015  
事務所 〒880-03 佐土原町大字上田島1883番地  
TEL 0985-74-1078

会長 山脇 忍  
副会長 池田仁志  
幹事会計 斎藤数馬  
佐野保  
会報委員長 垂水敏雄

## 第62回例会記録(平成1・1・13)

会長挨拶 山脇 忍

皆さん 今日は。 本日は第62回例会であります。

1987年から、1月がロータリー理解推進月間に指定され現在に至っています。

この新しい「特別月間」がロータリー・カレンダーに付け加えられたのは、ロータリーの目標と理想が一般の人々やロータリアン自身により、しばしば誤解されているという事態を認識したからだといわれています。

最も優れたロータリアンは、ロータリーのことをよく知っているロータリアンであるという前提に基づいてロータリーへの理解を推進するこの運動は、ロータリーの内容についてより多くのものを必ず獲得させることと考えられます。

ロータリーの目的を十分に理解、認識しているロータリアンは、クラブや地区、さらに国際レベルの諸活動に積極的になると思われます。

そしてこのような積極的な参加は、退会率をかなり減らすことにもなります。

ロータリーへの理解を推進するために、過去に行なったことは色々ありますが、その一つは、地区ロータリー情報セミナーの復活です。

このセミナーは大変有益であることが分かったので毎年実施されています。

またロータリー・ニュース・ネットワークが制作され、クラブが入手できるようになりました。

ロータリー・ニュース・ネットワークはロータリーの世界をくまなく取り上げる新しいビデオ雑誌です。

さらに、いくつかの新出版物が、さまざま

ロータリー・プログラムまたは最新情報にスポットライトを当てるために開発されています。

これらの資料すべてを活用すれば、クラブ会員はロータリーの目標をより理解し、同時に世界各地のロータリアンが、ロータリーの目標をどのように遂行しているかを知ることができます。

以下にかかげる事柄を参考にしてロータリー理解推進月間をより意義あるものにしたいと思います。

- ◎ 会員が世界各地のロータリーの活動について知識を深めることができるように、例会でロータリー・ニュース・ネットワークを上映する。
- ◎ ロータリアン必携全7巻とクラブ会長必携中の委員会資料を学習用に用意し、会員が読むよう努力すること。
- ◎ 新会員に色刷りのパンフレット「今日のロータリー」を贈ること。
- ◎ 奉仕プロジェクトにより、地域社会におけるクラブの「イメージ・アップ」を図る。
- ◎ 会員が、ロータリアン誌、ロータリーの友を読んで、ロータリアン以外の人にも読んでもらうようにすることを勧めること。各号ともロータリー・ニュースとプロジェクトのアイデアが満載されています。
- ◎ 「カタログ」を通読し、他にどのような資料が入手できるかを知っておくこと。  
ロータークトから世界社会奉仕まで、さ

らに職業奉仕に関する最新の指針を始めとして、薬物濫用防止や文盲追放のためのプロジェクト案にいたるまで、豊富なロータリー出版物や視聴覚資料が揃えてあるのが分かります。

◎ 職業分類談話

R I 理事会は一昨年職業奉仕の新方針を採択しましたが、この新方針は、ロータリアンに「あらゆる有用な職業は尊重されるべきであるという認識を深め、職業への理解を深めるよう」要請しています。

職業分類談話は、長らくロータリーの伝統でしたが、これは広範囲にわたる実業および専門職業への会員の知識と理解を広げるうえで効果的な方法であります。

「私の職業」談話と呼ばれることもありますが、こういった談話により、さまざまな職種の中にある問題や機会を考察し、さらにその職種に必要な資格などを理解することができるようになります。

定期的に会員がこのような談話をすることによって、クラブ会員の広範囲にわたる職業活動を紹介し、会員が検討できるようにすることができます。

最近改訂された「職業分類談話の準備」には、内容や話し方に関する指針が載っていますので、スピーチに慣れていない人にも特に役に立ちます。

日本支局に1部60円で注文できます。



幹事報告

本日は幹事が欠席（出張）で、幹事代理も中止しなければならなくなりましたので、報告事項はありません。

親睦委員会より 委員長 池田仁志

1月27日開催予定の新年家族例会は、会長と協議のうえ、昭和天皇の大喪前であることから中止し、通常の例会にすることにしました。

ただし、当日予定してありました会費については、新年家族例会があったものと考えていただき、3,000円を1月27日に会計まで納入くださいますようお願いいたします。



会員増強について、「ロータリーの友」での先輩たちの意見を集約してみました。

○ よく、会員増強とは、単に会員の数を増やすことだけではなく、質を高めることが大切であるといわれている。  
では、ロータリアンの質とは果して何であろうか。

○ ロータリアンの質とは、つまるところ”奉仕の心”であり、富や仕事の大きさではないことを、しかと認識することが肝要である。  
奉仕の心は社会全体が望むところであり、できるなら社会全体が参加すべき運動である。  
ロータリーが一人でも多く会員を増やすことは、社会的責任であると思う。

○ 要するに、ロータリアンの資格はそんなにやかましいものではなく、ロータリーを楽しみ、その中で奉仕の哲学をわがものにしたいと望む善意の人であればよいと考える。

○ 新入会員推薦は会員一人一人の義務である。  
そのため各会員は、入会候補者に対して効率的にロータリー情報を与えることができ

るようにしておくことが重要である。さらに、会員各位が未充填の職種に常に留意し、新会員を推薦する方法を心得ていることが大切である。

- ロータリークラブの活性化のためには、若い力が必要である。  
若い人たちの入会で考えなければならないことの一つは、入会金、年会費が過重にならぬことであろう。  
あるパスト・ガバナーは、お金のかからないロータリークラブが理想であると言っている。  
最近は小人数のクラブも、多人数のクラブも、同じ財政的負担をしている。  
そのため、小人数のクラブは内部充実が困難ではないだろうか。  
この辺でロータリーのあり方を考えることも必要ではないか。
- 要は、苦心、熱心、決心の三つがなくては会員増強の実現を見ないのである。  
何よりも会員各自の誠意・熱意・創意による実践こそ、拡大増強結実への道であると言える。

第62回例会 1月13日(金)

### ビジタ一(敬称略)

西都 尾崎忠男

### 出席報告

会員数	19名
ホーム欠席者数	7名
ホーム出席者数	12名
ホーム出席率	63.16%
メークアップ者数	0名
欠席者名	坂本・上田・立山・日高 斎藤・武政・正岡

- 16名出席になれば、80%を超えます。

### 人の心

小学校時代の同窓生であった女性が、かなり近くに住んでいます。

彼女は勤務先の通勤コースになっているらしく、毎朝私の家の前を自転車で通ります。もちろん双方が朝顔を合わせることがありました。ところが、こちらから挨拶の声を掛けようと待ち受けていても、いつも顔をそむけて通るのです。

小学校では副級長までした、しっかりした女性ですから、社会的常識は備えているはずです。

何故だろうか。 私にだけ挨拶したくないのだろうか、と考えてみました。

そういえば、彼女は1回も小学校の同窓会に出席したことがありません。

卒業後よほど深い心の傷を受けるようなできごとがあって、それで同窓生をも避けているのかも知れないと善意に?解釈もしてみました。

しかし、やはり頭にくるので、凡人のなさけなさ、会ったときには私の方も目をそらすようにしていました。

ある朝、出勤途上ガソリン給油に寄った店が彼女の勤務先でした。

8時前で、出勤していたのは彼女だけでした。気まずいと思ったけれど、思いきって「お早うございます。」と声を掛けると、なんと彼女もにこやかに「お早うございます。」と応じてくれたのです。

調子に乗った私は、「早朝からご苦労さん。元気で頑張ってください。」といって別れました。

今朝も彼女は自分から「お早うございます。」とほほえんで通りました。